



ポリクリック
シリーズ

FRP用コアドリル

取扱説明書

《特長》

- ◎シャープな切れ味を生み出す刃先形状で、新材のガラス繊維などの補強材も綺麗に切断出来ます。
- ◎深いチップポケットが、放熱効果を高めると共に、切削片の取り出しを簡単にしました。

《用途》

FRP、アクリル、塩ビ、合板、各種新材の大口徑穴あけに

警告

- 無理な姿勢で作業しないで下さい。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにして下さい。高所作業時には安全帯着用等の安全衛生規則に則った作業をして下さい。
- 作業時の服装には十分注意し、袖やズボンのすそ等が巻き込まれないようにして下さい。
- 目に切粉が入らないよう、保護メガネを必ず着用して下さい。
- 高所作業では切削片の飛び出し、落下の危険がありますので、十分注意して下さい。
- カッターの着脱時は、ストッパーでカッターが押し出されますので飛び出し、落下・破損に注意して下さい。高所作業では特に注意してください。(カッターとシャンクの着脱方法を良くお読み下さい。)
- センタードリルは、バネで押されていますので着脱時には飛び出し、落下に注意して下さい。高所作業では特に注意して下さい。(センタードリルの着脱方法を良くお読み下さい。)
- 穴あけ直後のカッターや切削片は熱くなっていますので、火傷をしないよう保護手袋等を着用して下さい。但しカッター回転中は巻き込まれる危険が有りますので、保護手袋は着用しないで下さい。
- カッター、及びセンタードリルの着脱時は、保護手袋を着用し、刃先やセンタードリルだけがや火傷をしないように、注意して下さい。
- カッター着脱時ストッパーはバネ力で強く押し出されますので、シャンクとストッパーの隙間に手や指を挟まれないように注意して下さい。(カッターとシャンクの着脱方法を良くお読み下さい。)

- カッターとシャンクの着脱時は電動機の電源を必ずコンセントから抜いて作業を行って下さい。
- ご使用になる電動機の「取扱説明書」をよく理解された後、ご使用下さい。
- その他の注意点につきましては総合カタログ「安全上のご注意」の項をご確認下さい。

注意

- 電動機は必ず回転モードで使用して下さい。
- センタードリルのシャンク挿入部にグリスを塗布して下さい。センタードリルの変形が軽減されます。
- 穴あけ途中は、絶対に回転を止めないで下さい。(刃先が噛み込み、抜けなくなる場合があります)回転を止める場合は、カッターを穴あけ対象物から引き抜いた後で止めて下さい。
- 切削片がカッターから出にくい場合は、カッターをシャンクからはずし、棒状の物で刃先側へ押し出して下さい。
- カッターは変形しないように注意して取り扱って下さい。また変形したカッターは使用しないで下さい。
- カッターをシャンクに装着する場合は、挿入部に切粉が付いていない状態で作業して下さい。
- 大口徑カッター(φ75以上)穴あけ時は手持ちの電動機をご使用になられる場合、安全のためクラッチ付き電動機をご使用下さい。
- 連続して穴あけを行う場合は、1穴毎にカッター内の切削片を取り除いて下さい。

《仕様》

(カッター・センタードリル)

刃先径 (mm)	適応 シャンク	有効長 (mm)	センタードリル	
			(径・全長)	品番
17~48	S	45	φ8.2×120	PCFRPCDS
50~127	L		φ8.2×135	PCFRPCDL

《シャンク》

ポリクリックシャンクS及びシャンクLには下表の種類があります。用途・使用する電動機に合わせてご使用下さい。

シャンク (呼び径)	品名	品番	仕様
Sシャンク (φ17~ φ48)	Sシャンク	PCSKS	10mmストレートシャンク
	Sシャンク200L	PCSKS200	10mmストレートロングシャンク
	SシャンクSDS	PCSKSR	SDSシャンク(軽量ハンマードリル用)
	SシャンクSDS200L	PCSKSR200	SDSロングシャンク
Lシャンク (φ50~ φ127)	Lシャンク(10mm)	PCSKLT	10mmストレートシャンク
	Lシャンク200L(10mm)	PCSKLT200	10mmストレートロングシャンク
	Lシャンク	PCSKL	13mmストレートシャンク
	Lシャンク200L	PCSKL200	13mmストレートロングシャンク
	LシャンクSDS	PCSKLR	SDSシャンク(軽量ハンマードリル用)
LシャンクSDS200L	PCSKLR200	SDSロングシャンク	

《使用条件》

<電動機の適正回転速度・消費電力の目安>

刃先径 (mm)	回転速度 (rpm)	消費電力 (W)
17~48	1300~600	500
50~100	1100~500	600
110~127	800~250	700

注意：上記は弊社標準条件においての目安です。
材質、穴あけ対象物の固定方法等により適正回転速度は異なります。



ユーザーと共に歩む

株式会社 **ミヤナガ**

受注センター (フリーダイヤル)

本社・工場 兵庫県三木市福井2393番地 〒673-0433

御注文窓口 TEL:0120-81-3875

第2工場 兵庫県三木市別所町巴19番地 〒673-0443

お問い合わせ窓口 TEL:0120-3875-14

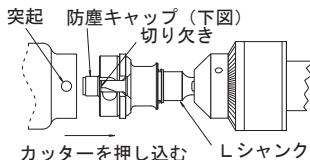
ホームページ <http://www.miyazaki.co.jp/>

フリーFAX FAX:0120-3875-17

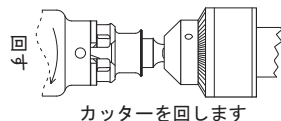
《カッターとシャンクの着脱方法》

◎取付方法◎

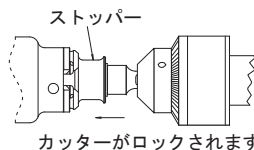
- 1) シャンクを電動機に取り付け、シャンク側の切り欠き部(3ヶ所)とカッターの突起部を合わせカッターをシャンクに押し込みます。



- 2) カッターをシャンク端面まで押し込んだ状態でカッターを右に少し回します。(シャンクは固定させた状態)



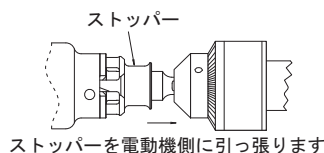
- 3) シャンク側のストッパーがバネの力によりカッター側に押し出され、カッターがロックされます。



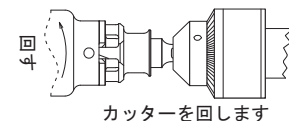
※バネ力によりストッパーが押し出されますので、ストッパー付近に手を添えないで下さい。指が挟まれる危険性があります。

◎取外方法◎

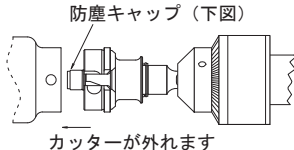
- 1) シャンクを電動機に取り付けた状態で、ストッパーを電動機側に引っ張ります。



- 2) ストッパーを電動機側に引っ張った状態でカッターを左に少し回します。(シャンクは固定した状態)



- 3) ストッパーを手で引っ張っている力を少し緩めて下さい。カッターが押し出されます。(急激に手を離すとカッターが飛び出し危険ですので注意して下さい。)



※カッターの取り外しは、ストッパーでカッターが押し出されますので、飛び出し、落下・破損に注意して下さい。高所作業では特に注意して下さい。

《防塵キャップ》

- ・ポリリックシャンク (Sシャンク・Lシャンク) には、センターピン・センタードリル挿入口へ切粉が入るのを防ぐために防塵キャップが付いています。(右図)
- ・防塵キャップを装着したままで、センターピン・センタードリルの着脱が可能です。

※単品での発売も行っています。

※SシャンクにはSシャンク用の防塵キャップ、LシャンクにはLシャンク用の防塵キャップを使用して下さい。

防塵キャップ	品番
Sシャンク用	PCBCS
Lシャンク用	PCBCL



図 防塵キャップ

《使用方法》

- 1) 《使用条件》の欄を参考にし、刃先径に適した電動機を使用して下さい。

- 2) シャンクを電動機に取り付けます。
※取り付け方は電動機の取扱説明書をご覧ください。

- 3) カッターを取り付けない状態で《センタードリルの着脱方法》をご覧になりセンタードリルをシャンクに取り付けて下さい。

- 4) 穴あけ位置中心にセンタードリルを当て、電動機を回転させセンタードリル穴をあけて下さい。(センタードリル貫通後にカッターが穴あけ対象物に急激に当たるのを防ぐために、先にセンタードリル穴だけをあけて下さい。)

- 5) カッターのシャンクへの取付けは左項の《カッターとシャンクの着脱方法》を参考にして取り付けて下さい。

※Sシャンク仕様のカッターで呼び径20.9mm以下のカッターを取付けられる場合は「防塵キャップ」を外さないとカッターが装着出来ません。

- 6) カッターが穴あけ対象物に接した後、切削が安定するまで2~3秒程度ゆっくりと切り込んで下さい。

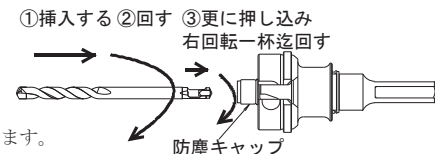
- 7) 穴あけ完了後、カッターは回転させたまま引き抜いて下さい。

- 8) 切削片がカッターより出しにくい場合は、カッターをシャンクから外し棒状の物で刃先側へ押し出して下さい。

《センタードリルの着脱方法》

◎取付方法◎

- 1) センタードリルをシャンクに挿入します。
(防塵キャップを装着したままで挿入可能です)
- 2) センタードリルを右回転させながら押し込み、一段奥に入った事を確認して下さい。
- 3) センタードリルをさらに右回転させロックさせます。
(約90度回転)
- 4) 引っ張っても抜けない事を確認して下さい。



◎取外方法◎

- 1) センタードリルを押さえないが、センタードリルを左回転させます。(約90度回転)
注意: センタードリルを押し込みすぎると、センタードリルが回らない場合があります。
- 2) センタードリルを抜き取ります。

《構成図》

